



酒を愛する 人たちの、豊かな ミュージアムとして。

千代の屋
村上秀典

国道二百二十二号線は大分県中津市と熊本県阿蘇市を結ぶ幹線道路だ。この道を走らせているドライバーが内牧あたりの田園風景のなか、ひとときわ目立つ建物に目を留める。レストラン？ 体育館？ いったい何だろう。答は、酒屋である。屋号は、千代の屋。店内に踏みこむと、ずらりと銘酒が並び、しかも明るい。酒屋というよりミュージアムの気配が漂っている。これは村上秀典さんの求めたスタイルだ。全国の地酒を足で歩いて集めてきて、「いい意味での高級志向を考えました」。阿蘇青年会議所のメンバーとして、過去に理事長も務めるなど中心となって活動を展開してきたから、地域への愛情は深い。二〇一六年四月の地震で、店の酒瓶の九割が粉々になった。「被害は自分だけじゃないのだからと極力平静に……復活を目指した」。そうしたなか、かつて五年ほど住み込みで教わった蔵元の恩師（山口県）が大量の物資をみずから運転する車で運んでくれた。感謝してもし尽くせなかった。膨大な物資をてきぱき振り分けていったのもやはり青年会議所の活動である。店の復活は早かった。呑んべえの客たちが待ち切れず手伝ったのだ。



人生にとって スポーツがいかに 素晴らしいか。

火の山スポーツクラブ
松本久義

瀬戸内海に浮かぶ芸予諸島のひとつ伯方島に生まれ育った。潮風が子守唄だった松本久義さんが、青年となり山と草原のまちに暮らすようになったのだから、縁とは異なるものだ。結びつけたのは「スポーツ」である。高校のころから、「アメリカへ渡って、プロスポーツの裏方の仕事がしたい」と思っていました。そのアメリカ行きは実現しなかったが、スポーツマネージメントへのこころざしは深く変わった。大分県の大学に進み、そこで出会った。ブラジルと日本を行き来する吉野貴彦氏だ。氏からサッカーの指南を受け、ブラジルのスポーツに対する考えを学んだ。卒業後、いったん故郷に戻るも阿蘇に吉野氏の関わるサッカー場ができたことを契機に、この地を活動の拠点にと決断。現在は、総合型地域スポーツクラブ「火の山スポーツクラブ」のスタッフとして欠かせぬ存在だ。熊本地震後は避難所を回り、エコノミークラス症候群対策の体操を指導した。子どもからお年寄りまで、人生にとってスポーツがいかに有意義かを実感してもらおう、いわば伝道師。もはや火の山そのものの熱血スポーツマネージャーである。

人の力を 信じる。

阿蘇の誇りと実りのブランド

然

zen
A s o C i t y

あるがまま、という貴さ。
人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、
阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局（阿蘇市観光課）
TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

aso-zen.com

- 阿蘇の自然を舞台にした人びとの営みこそ大きな力を持っている、という考えで2013年秋にスタートした「然」。活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作しています。
- 「然の人びと」は現在も取材進行中です。輝いている阿蘇人をどしどしご紹介ください。自薦他薦を問いません。

※ 掲載された内容は取材時のものです。

今月の主な内容・CONTENTS

特集

- ④ 火口見学再開
- ⑩ 平成30年度予算
- ⑫ 平成30年度施政方針
- ⑱ 平成30年度職員配置のお知らせ
- ⑳ まちの話題
- ㉓ 九州・全国大会出場者紹介
- ㉕ 市役所からのお知らせ
- ㉟ 暮らしの情報
- ㊳ 公用車を公売します ほか
- ㊶ 人権作文 せきや ゆうご 関屋 勇吾さん
- ㊸ 阿蘇サイクルツーリズム通信 vol.14
- ㊹ カルデラ暮らし vol.16
- ㊻ 阿蘇医療センター通信 No.30
- ㊼ 図書館へ行こう！
- ㊽ 暮らしカレンダー＆お慶びご寄付
- ㊿ 故郷で働く みとし 今村 太さん
- 地産地消クッキング あおな 青高菜漬けと豚肉のスープ
さわやかフレッシュマン たくま 山本 琢磨さん
- ㊿ 阿蘇フォト on Instagram

今月号の表紙

草千里は長年にわたり牛馬の放牧で草原が維持されてきました。しかし、観光客を媒介とした口蹄疫を防ぐため平成22年から牛の放牧を中止しており、原野の荒廃が心配されていました。このため、3年前に約半世紀ぶりの野焼きを再開。3月3日は、地元の牧野組合やボランティアら約100名が参加し、山林に火が移らないよう風向きに注意しながら草千里一帯の枯草を焼きました。



市役所からのお知らせ

- 被災者生活再建支援金(基礎支援金)の申請期間を延長します [P25]
- 高齢者医療保険料率と軽減措置のお知らせ [P26]
- 入院時食事療養費及び入院時生活療養費が一部改定されます [P27]
- 合併処理浄化槽を設置する場合は補助金が交付されます [P28]
- 「空き家バンク制度」を活用ください [P29]

暮らしの情報

- 住民票の写し等の請求には本人確認書類を忘れずに！
- 住民異動届の手続きは余裕を持って！
- 必ずチェック最低賃金！使用者も、労働者も
- 使用済みインクカートリッジを回収しています
- 熊本県女性総合相談室が移転し名称が変わります
- ミツバチに対する農業危害防止について
- ラグビーワールドカップ2019チケット先行販売中！
- 危険物取扱者試験案内
- 熊本地震で被災された方へ「こころの健康相談」のご案内
- ロアッソ熊本「熊本地震復興支援マッチ」にご招待
- 内牧温泉の開湯120周年を祈願
- 国道57号北側復旧ルート二重峠トンネル工事進捗状況

夢を追いかける青少年の声を届けます ー

夢を追いかけて

僕の夢は、小学校の先生です。理由は、子どもが好きだし、分かりやすく教える先生達を見て、すごいと思ったからです。また長距離走が好きなので、その楽しさを伝えたいからです。そのために、二つのことを努力したいです。分かりやすく伝わりやすい言葉を使えるように言葉の勉強を頑張ることと、子ども達のお手本になるように周りのことを考えて動くことです。これから、自ら行動して、これまで学んできたことを生かしたいです。

川内翼

かわうち つばさ／一の宮小学校・6年

